

お手入れ (サクソフォン)

サクソフォン

輝かしい外観とサウンドのサクソフォン。手あかや汚れが付いていると目立ちます。カッコいい演奏のため、クロスなども使って細かいところも丁寧にお手入れしましょう。

■ 組み立ての前に



マウスピースが差し込みにくい時はコルクグリスを薄くぬりましょう。ケースにしまう前はグリスを拭き取るようにしましょう。

■ 演奏前の注意

演奏の準備



1 本体のネック固定ネジを緩め、ネックを少し回しながら本体にまっすぐ差し込み、ネック固定ネジを締めましょう。



2 ストラップはストラップリングに掛け長さを調節し、ネックの角度をセットしましょう。



3 マウスピースは少し回しながらネックに差し込み、リードとリガチャーをセットしてください。



4 リードはマウスピースがほんの少しだけ見える高さにセットしてください。
※リガチャーは製品により留める位置や向きが異なります。

楽器の置き方



練習の合間に楽器を置く場合はスタンドに立てるか、人や物がぶつからないように、奏者から見て右側を下にして置きましょう。



椅子や机に置く場合は左側のサイドキィが下を向かないようにしましょう。キィが曲がってしまうことがあります。

■ 演奏後のお手入れ



1 スワブはしわを伸ばし、紐に結び目ができていたらほどいてください。錘の付いた方の紐をベルから入れ、ゆっくりと管体を回転させます。



2 反対側から紐が出たらゆっくり引いてスワブを抜き取りましょう。管内の水分がしっかりと取れていることを確認してください。



3 スワブがしわだらけだったり、紐に結び目が出来ていると管内で詰まる場合があります。



4 詰まったと感じたらそれ以上引っ張らずに入れた方向から戻してください。



5 タンポとトーンホール(音孔)の間に水分が溜まるとタンポが傷む原因になります。クリーニングペーパーを挟んでキィを軽く数回押さえ、水分を取り去りましょう。キィを閉じたままペーパーを引っ張らないようにしてください。



6 タンポがベタつく場合はパウダーペーパーを使いましょう。パウダーペーパーはタンポが乾いてから使うようにしてください。パウダーがタンポに付くようペーパーの向きに気をつけてください。



7 楽器の表面に付いた汚れや指紋をポリッシングクロスで優しく丁寧に拭き取って完了です。